

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/12/27号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

1800ドルを回復してクリスマスへ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



欧米の多くのトレーダーがクリスマス休暇に入り、薄商いのマーケットとなり、24日金曜日はほとんどの参加者がいないような状況でした。NYはクローズ、その他のマーケットはほとんど半日。今年は25日のクリスマスが土曜日なので、例年は東京だけがオープンの日になるのですが、今年は普通の週末となり、例年と比べるとクリスマスも特別な休暇という感じは強くありません。薄いマーケットの中、ゴールドは1800ドルを回復、1810ドル近くでクリスマス入りとなりました。クリスマスからバレンタインまでは季節柄ゴールドの現物需要が強くなること、そして世界中で急拡大しているオミクロン株による将来の不安がマーケットに広がっているためだと思います。休暇前のファンドのショートカバーも入っているのでしょうか。今週は、今年のマーケット最終週ですが、トレーダーの多くは新年までお休みです。ただ火曜日にconsumer confidence、水曜日にpending home sales、木曜日にjobless claimsといった米国の経済指標があります。薄いマーケットで価格が動く可能性があります。しかし本格的な動きは来年に入ってからになるでしょう。FRBの金融政策、インフレ、オミクロン株、地政学リスクと材料は目白押し。FRBのテーパリングの加速、来年3回の金利上げ予定はもはやマーケットには織り込み済み。注目すべきはその他の不確定要因がどうなるか、でしょう。特にインフレの進行は、ゴールドにとっては強力なマクロドライバーとなりえます。2021年はゴールドをはじめとする貴金属にとっては年初からはマイナスのパフォーマンスとなりました。ゴールドは去年の23%を超える上昇から、今年は4.5%の下げとなりました。しかし逆にその反動で来年は上昇の可能性があると考えます。読者の皆さん、よい年を！

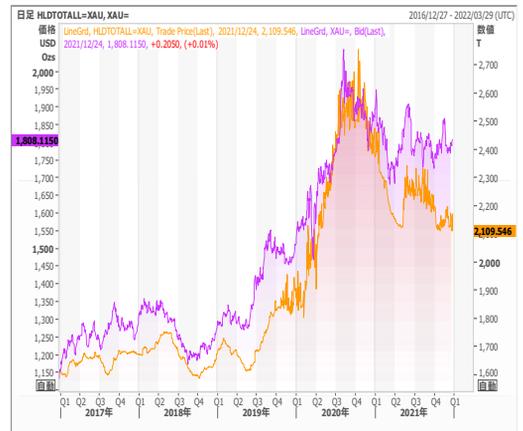
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

ゴールド価格の決まり方

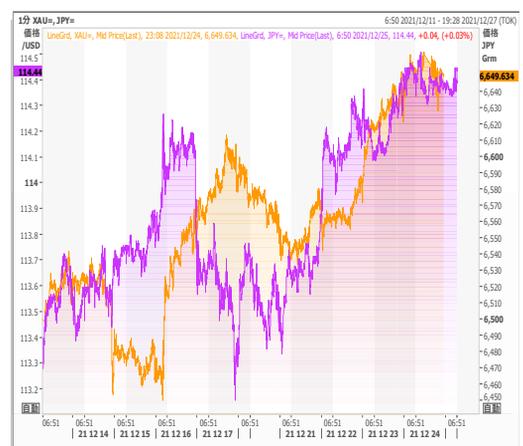
世界の中心は本来ならば Loco London gold marketです。ゴールドとドルの為替であり、ドル円やドルユーロなど、外国為替と全く同じ土俵の市場であり、土日を除く24時間、そのマーケットは成り立っています。しかし、外国為替とゴールドの大きな違いとして、先物市場の影響力があります。ゴールドを取引するニューヨークのComexはLoco Londonと並んでほぼ24時間取引をしており、現在ではここでの取引で決まる先物価格がゴールドの価格の中心にあり、Loco London priceも、またそのほかのあらゆるゴールド価格Comexの価格からはじき出されていると言ってもいい過ぎではないでしょう。私がゴールドトレーダーだったころは、Loco London がゴールドマーケットの「標準」であり、ニューヨーク時間帯を除いては、常にLoco Londonが世界のゴールド価格の中心にありました。しかし今やその地位は逆転。Loco London の価格を提示するマーケットメーカーは、その時点のComexの価格からEFP (ComexとSpot Loco Londonのswap rate) を使ってLoco Londonの価格を出します。そのため、もはやインターバンクと呼ばれたマーケットメーカー中心のロコ・ロンドン・マーケットはほとんど機能していません。参加者が全員、そのプライスをComexに頼っているのであれば、直接Comexを取引する方が圧倒的に効率的であるからです。そのため、さらにComexにすべてのインタレストがまとまるということになり、もはやいわゆる「price finding 価格発見機能」はComexにあるという事実は否定できません。そこから計算したLoco London priceを元に、ほかのゴールド価格は決まっています。SPDR Gold ETFの価格もその例外ではありません。その時点でのComexとの価格とほぼ同価値になっているはずで、すべてのゴールド価格は同じ時間帯であれば同価値になるというのが、このマーケットの常です。もし、その価値に差があれば、安い方と買って高い方を売るという裁定取引が即座に行われるからです。そうならない場合はそこに自由な取引をさせないなんらかの理由があります。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することによるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

